

材料力学・強度関連技術の企業内教育のご案内

●本教育の目的

各社におかれましては、新市場の創出・販路の拡大・コストダウンを図るための新技術・新製品・新生産方式の実現などに傾注されていることと存じます。

これらの努力は、適正・確実な強度設計・製造による耐久品質を実現して始めて収益に結びつくことは十分承知されていると存じます。また、市場に出した製品が不幸にして破損するなどの不具合を生じた場合の技術的な対処の方法の重要性も承知されていると存じます。

この問題に対処するには経験の積み重ねだけでなく、ものづくりの基盤である材料力学や強度の基本を理解した上での技術と経験の伝承が重要と考えております。

各社におかれましても、様々な工夫をされていると拝察致しますが、ベテランの減少、年齢構成、少ない時間的余裕などによる困難を抱えておられる企業も少なくないと拝察しております。

日本機械学会関西支部シニア会には、企業や研究機関で、材料力学、構造解析、材料強度、強度設計、破損原究明原因・対策に関わる実践的な経験を積んだ技術者が登録しております。

皆様方の要望に応じた講師とプログラムによる社内教育を実施させていただく所存です。

●本教育の特徴

- (1) 企業と協議して合意した特定のカリキュラムに基づき、企業に出向いて行う教育です。
- (2) 材料力学の基本、材料強度の基本、主要部品毎の強度設計法、強度評価に必要な解析・計測技術、製品・設備が破損した場合の対処法など基礎から応用に至る技術要素に対応致します。
- (3) 講師が実際に体験した開発過程での強度設計事例、実部品の破損原因分析事例を紹介することで、(2)の技術要素の理解を深めるように致します。
- (4) 対応可能な技術要素のリストおよび紹介可能な事例のリストを提示しますので、そのうちのどれにご関心があるか、ならびに企業の要望を伺いながら、カリキュラムと講師を決定させていただきます。

●教育実施までの手順

実際に皆様方のニーズに沿った社内教育を実施するに至るまでの過程の概要は以下のように考えております。

- (1) 下部の[材料力学・強度分野教育内容の概要](#)をクリックしていただきますと教育可能な技術要素リストおよび紹介可能な事例リストのページが表示されますのでご一読下さい。
- (2) ご関心がありましたら、下部より[材料力学・強度分野 意向回答（様式1）](#)をダウンロードしてご記入いただき、
(宛先) 日本機械学会関西支部 info@kansai.jsme.or.jp に添付してお送りください。
- (3) 打ち合わせをご希望の企業には、企業側ご担当とシニア会の担当運営委員とで面談できるように日程調整させていただきます。
- (4) 本教育についての質問や要望がある場合は、[材料力学・強度分野 意向回答（様式1）](#)とともに質問事項などを送付下さい。送付先は（2）の場合と同じです。
- (5) 打ち合わせでは、企業の具体的な要望、課題等とともに、（1）の教育可能な技術要素リストおよび紹介可能な事例リストのうちのどれにニーズがあるか、教育の進め方についてのご意見等を聴かせていただきます。
- (6) 打ち合わせ内容を踏まえて、シニア会側で企業ニーズと講師陣の対応能力とが合致する部分について、カリキュラムと講師の案を作成、提示させていただきます。
- (7) 提示した案を基に更に協議を行い、教育プログラムを策定・実施させていただきます。
- (8) 教育プログラムは、企業のニーズ、講師がカバーできる範囲・時間的な都合等々により様々になると考えられますが、以下の事項を含みます。
 - ・教育項目、・期間・頻度、・形態（スポット的かシリーズ的かなど）、・方法（資料、パワーポイント等の使用の有無、実習の有無 等々）、・教育場所、・対象者（集団・個人など）
- (9) 対価とその支払い方法については、教育プログラムの内容に応じて、企業と講師との間で決定させていただきます。

[材料力学・強度分野 教育内容の概要](#)

[意向回答（様式1）](#)